生活科学習指導案
指導者 柳井 裕美

１ 日 時 令和５年 11 月 18 日（土） 第２校時（10:05～10:50）
２ 学年・組 小学校第１学年１組 計 32 名（男子 16 名，女子 16 名）
３ 場 所 小学校第１学年１組教室
４ 単 元 名 がっこうたんけん
５ 単元について
 本単元では，学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達などについて調べたり考えたりす

７ 指導計画（全 20 時間）
次 時 学習内容
１
(５月)
１ がっこうには，どんなへやがあるのかな。
２
(6 月)
(7 月)
２ ここをたんけんしてみたいな。
３ がっこうたんけんにいこう！①
４～５ クラスのみんなにつたえよう！①
６ ２ねんせい（２年２組）につたえよう！①
３

(10 月)
７ インタビューしたいことをかんがえよう。
８ インタビューにいこう。
９ インタビューしたことをまとめよう。
10 ２ねんせい（２年２組）につたえよう！②
11 がっこうたんけんにいこう！②
12 クラスのみんなにつたえよう！②
４

(11 月)
(12 月)
13～14 「しののめ小ツアー（仮称）」のけいかくをたてよう。
15 「しののめ小ツアー（仮称）」のじゅんびをしよう。①（本時 15／20）
16 「しののめ小ツアー（仮称）」のじゅんびをしよう。②
17 がっこうたんけんにいこう！③
18 「しののめ小ツアー（２年２組）」をしよう。
19 「しののめ小ツアー（保護者）」をしよう。
20 「しののめ小ツアー」をふりかえろう。

８ 本時の目標
 「たんけんメモ」を活用して話し合いをすることを通して，招待する人の気持ちを考えながら，「しの
のめ小ツアー（仮称）」で伝えたいことを選ぶことができる。【思考・判断・表現】

９ 「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連
基準 具体的な児童・生徒の姿
A
「たんけんメモ」を活用して，招待する人の気持ちを考えながら，「しののめ小ツアー（仮
称）」で伝えたいことを選ぶことができる。
B
「たんけんメモ」を活用して，「しののめ小ツアー（仮称）」で伝えたいことを選ぶことが
できる。
手立て【関連する教師の資質能力】
○ チームごとに班机にして活動することで，互いに「たんけんメモ」を見せ合ったりホワイトボー
ドにまとめたりしながら話し合いを進めていくことができるようにする。【授業実践力】
○ 「どうしてこれを伝えようと思うのですか。」「みんなが知って嬉しかったことは何ですか。」など
の声かけをし，それぞれのチームのこだわりを引き出すことができるようにする。【授業実践力】
○ 自分たちや「しののめ小ツアー（仮称）」に来てもらう人など，様々な視点から考えて伝えたいこ
とを決めることができたことをグループ活動や全体の場で価値付けていくو⠣ᐸ᜗勠෬촠ကうにする。【ĩᝈ䈠딀

10 学習の展開
学習活動と内容 指導上の留意点（◆評価）
１． 前時の学習を振り返る。
・２ねん２くみさんとおうちのかたをしょうたいす
るので，たのしみです。
・クイズをだそうとおもいます。
・はやくしたいです。
・どんなことをつたえようかな。
・たくさんつたえたいことがあって，まような。

２．「たんけんメモ」をつかって伝えたいことを考え，
ホワイトボードにまとめる。（チーム）
＜ほけんしつチーム＞
・いちばんおおいけがについてつたえたいね。すり
きずがいちばんおおいことをしってびっくりした
もんね。つたえると，みんながそのけがをしないよ
うにきをつけてくれるかもしれないよ。
＜きゅうしょくしつチーム＞
・せんせいのすきなきゅうしょくについてつたえた
いね。しののめ小学校はカレーがすきなひとがお
おいから，クイズにするとたのしんでもらえそう
だよね。
＜りかしつチーム＞
・どうしてくろいつくえなのかをつたえたいね。み
んな，つくえのいろはしっていても，りゆうまでは
しらないとおもうな。
３．伝えたいと決めたことを発表する。（全体）
＜ばいてんチーム＞
・ばいてんでよくうれるものをつたえようとおもい
ます。きっとみんなしらないとおもうし，ぼくもは
じめてしったからです。
＜ずこうしつチーム＞
・せんせいのおきにいりのさくひんについてつたえ
ようとおもいます。そのさくひんは，ずこうしつに
あるので，みんなに見てもらえるからです。
４．次回の活動を考え，見通しをもつ。
・伝えたいことが決まったから，次はクイズをつく
ったり絵を描いたりしたいな。
○ 前時で決めたことを振り返ることで，「し
ののめ小ツアー（仮称）」を行うことへのわ
くわく感をもつことができるようにする。
○ 「しののめ小ツアー（仮称）」で伝えたい
ことについて問うことで，今のままでは実
施できないことに気付くことができるよう
にする。

○ ホワイトボードの書き方や字の大きさに
ついて，例を示しながら伝えておくことで，
全体で交流する際に，短時間で複数のチー
ムの気持ちを確認することができるように
する。
○ それぞれのチームのこだわりを引き出す
ことができるように，「どうしてこれを伝え
ようと思うのですか。」「みんなが知って嬉
しかったことは何ですか。」などの声かけを
する。
○ チームごとに，伝えたいことをホワイト
ボードにまとめ d–} ておくことで，
それぞれのチーム

ことができるように
¿–Þ_sv~
“Qs§QyrdV}± Ú–Çv‰sŒ
}
Õ

それぞれのチーム
Õ =SqUZ^sr~
ようと思うのですか。」
°ŠžuWŽnq qUZ
^sr~ ¬rXuO^sv@
ÉZ^sWrXS“Qs½
Ë	%F$€”cë€•B%"fv>¿1ôVñ� G�™ìÍ�Õ
 「しののめ小ツアー（仮称）」チームごとに，
ようと思うのですか。」
ボードにまとめ }
} する。 「しののめ小ツアー（仮称）ボードにまとめしかったh—i—y¿–ÞÕことで，する。 ○
Õ